allcinema

クリスチナ女王（1933）

QUEEN CHRISTINA

メディア 映画
ジャンル ドラマ　伝記
製作国　アメリカ
色彩　B&W
時間　97分
初公開日 1934/11
公開情報 劇場公開

【解説】

輝くばかりに美しいとはこの映画のガルボのこと。まさに“女王”に喩えられたその美貌が、１７世紀のスウェーデン女王を演じるのは当然の帰結と言えよう。ドイツ３０年戦争、デンマークとの交戦……、そんな多難な時代に６歳から在位したクリスチナの内的葛藤を表わして、その瞳の憂愁は神秘の深みを超越している。壮麗というより清楚な衣装も眼に涼しく、彼女の美をよりひき立てていた。この作品のすぐ後入水自殺するＪ・ギルバート（そのかん高い声をトーキーに不向きと言われた天下の美青年）を相手の悲恋物語の哀切も胸に染みる。恋破れたクリスチナは、君主である束縛を厭い、旧教に改宗したこともあって退位し、余生を芸術家や学者のパトロンとなってローマに送ったのだった。

【クレジット】

監督	ルーベン・マムーリアン	Rouben Mamoulian	
製作	ウォルター・ウェンジャー	Walter Wanger	
	ルーベン・マムーリアン	Rouben Mamoulian	
原作	サルカ・ヴィアテル	Salka Viertel	
	マーガレット・Ｐ・レヴィノ	Margaret P. Levino	
脚本	Ｈ・Ｍ・ハーウッド	H.M. Harwood	
	サルカ・ヴィアテル	Salka Viertel	
台詞	Ｓ・Ｎ・バーマン	S.N. Behrman	
撮影	ウィリアム・Ｈ・ダニエルズ	William H. Daniels	
編集	ブランチ・シーウェル	Blanche Sewell	
音楽	ハーバート・ストサート	Herbert Stothart	
出演	グレタ・ガルボ	Greta Garbo	クリスチナ
	ジョン・ギルバート	John Gilbert	アントニオ
	イアン・キース	Ian Keith	マグヌス
	ルイス・ストーン	Lewis Stone	オクセンシェルナ
	Ｃ・オーブリー・スミス	C. Aubrey Smith	アーゲ
	グスタフ・フォン・セイファーティッツ	Gustav Von Seyffertitz	将軍
	レジナルド・オーウェン	Reginald Owen	カール
	エリザベス・ヤング	Elizabeth Young	エバ
	デヴィッド・トレンス	David Torrence	アーチビショップ
	フェルディナンド・ムニエル	Ferdinand Munier	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.